

**令和7年度（2025年度）第2回
熊本県男女共同参画審議会議事録
（概要版）**

令和7年（2025年）10月9日（水）

男女参画・協働推進課

令和7年度（2025年度）

第2回男女共同参画審議会議事録

令和7年（2025年）10月9日（木）10：00～

熊本県庁本館5階 審議会室

1 開会

2 挨拶 環境生活部県民生活局 中川局長

3 議事 第6次熊本県男女共同参画計画に施策体系について

事務局から資料1及び資料2に沿って説明

山下会長

第6次計画における熊本県独自の施策が3点あった。1点目は基本方針1の4「農林畜水産業における男女共同参画の推進」、2点目は基本方針2の1「地域における男女共同参画の状況に応じた取り組みの推進」の（1）「固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消」、3点目が同（2）「若者・女性にも選ばれる地域づくりのための男女共同参画の推進」の「若者」の部分という理解でよろしいか。

事務局

地方創生に関する大きな流れの中で、若者・女性が都会に流出していくことが課題となっている。県全体としても、若者・女性に住み続けていただける、若者・女性に選ばれる地域づくりのための男女共同参画の推進が必要であると考えている。

また、そもそも選ばれない理由の一つとして、アンコンシャス・バイアスや固定的性別役割分担意識が挙げられる。賃金格差や育児休業制度など、制度的なものは国が推進していただけるが、固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスなどについては、各地域で解消していかなければならない。

それから農林畜水産業については、本県の基幹産業であるため、意識や行動が変わっていくためには非常に重要であると考えているところ。

山下会長

地域の実情に合った内容ということで、独自の施策を入れられることについて賛成する。

一方で、国の素案にあって県の施策にないものについて指摘したい点が2点ある。「こどもに対する性犯罪・性暴力の根絶に向けた対策の推進」は、こどもに対する性犯罪・性暴力が社会的問題になっているので、項目に加えることをご検討いただきたい。また、県施策が「メディアにおける男女の人権の尊重」になっているのに対し、

国の素案は「メディア分野等と連携した積極的な情報発信」と一歩踏み込んだ内容になっているので、ご検討いただきたい。

事務局

御指摘いただいた件について、取り込むよう検討する。

太田副会長

資料1の基本方針1の2「あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大」の主要施策6項目が全体的に非常に抽象的である。具体的にどういうことを想定して項目が立てられてるのかがわかりやすく想像できるようご検討いただきたい。

事務局

国の第6次計画に合わせた項目立てになっていたが、太田委員がおっしゃるとおり、中身が想像できるような項目にした方が分かりやすいと思うので、熊本県独自になるが、そのように設定したい。

狭間委員

基本方針1の3「女性の所得向上と経済的自立の実現」の主要施策については、労働局がやるようなことに見えるが、県が独自に行っていくことはどのようなことを想定されているのか。少し具体的なところがあればと思う。

事務局

労働面では、国の制度の周知や啓発など、直接県ができる施策は限られている中で、トップセミナーなどで企業者側に制度をお示しすることはできていると思っている。

狭間委員

県との共催は今まであまりなかったもので、県にも手伝っていただきながら何かできればいいと思う。

園田委員

30年ほど前に市の審議会委員をしたときから少しずつ変わってきて、計画の中に「仕事と健康の両立への支援」（基本方針1の5「生涯を通じた男女の健康への支援」（2））という言葉が入ったことに重みを感じている。

また、男女共同参画センターが男女共同参画を推進する拠点として、法的に位置付けられたということで、くまもと県民交流館パレアは、とてもいい場所にあり、女性も男性も気軽に足を運べるような施設となるように、進んでいくのではと思っている。

事務局

パレアは、男女共同参画センター、NPO・ボランティア協働センター、生涯学習推進センターという3つのセンター機能がある複合施設であり、皆さんが集っていた拠点として設置されている。設置から20数年が経過し、県民の認知度や利用者の高齢化など、いろいろ課題が出てきている。男女両方とも気軽に集える拠点になるように、再度、検討していかなければいけないと思っている。

喜多川委員

農林畜水産業は、どうしても男性社会、男性が主になって行っている分野でもある。JAの女性協議会でも、女性の理事、総代の進出について、数値目標を持って地域で頑張っているが、数字だけが目標になっていて、女性の意見が通りづらい状況もある。私たち女性も学びを深めて頑張っていきたいと思っている。

事務局

女性の力なしで、熊本県の農林畜水産業は成り立っていかないと思うので、声を上げていただきたいと思っており、県としても後押ししていければと思っている。

濱田委員

熊本の県民性だとか、熊本独自の施策はどこか、事前にもらった資料では分かりづらかったのが、本日の説明でそこをはっきりしていただけてよかった。

島田委員

こどもの性被害に関することは非常に深刻であるので、第6次計画でも取り上げていただきたい。

また、自分は専門技術職で男女差が少ないところではあるが、将来医療専門職の担い手の確保も含め、若者・女性に魅力ある地域づくりは進めていただきたいと思っている。（国素案54ページ「医療分野における女性の参画拡大」も関係。）

事務局

医療分野、介護分野は大変厳しい状況である一方で、熊本県に戻ってきた若者・女性が就職しやすい職業として選ばれている分野でもある。この流れを後押しするような、若者・女性向けのロールモデルを示すなどやっていきたい。

また、こどもの性被害については、基本的には健康福祉部の方で策定している「こどもまんなか熊本・実現計画」に詳細には載っているが、抜粋という形で掲載させていただきたい。

福山委員

介護分野は重要であり、賃金を上げるなどが必要。

自分の仕事はIT分野であるが、この分野は若者も多く、アンコンシャス・バイアスをほとんど感じない。計画にも若い人たちの意見を取り込まないといけないと思う。

TSMCでたくさんの人が入ってきて、雇用も生まれ、熊本に残ろうと思う学生も増えていると肌感覚で感じている。これまで地道に積み上げられた努力の上に自分たちはいるが、それを越えた勢いというか、TSMCの影響などで、熊本県独自で進んでいる部分があるので、そういったことを反映してほしい。

事務局

業界によって感じ方が異なるところがあると思う。TSMCの進出を契機とした部分についても、少し考えてみたいと思う。

山下会長

資料2のキャッチフレーズについて、仮設定の一つ目として、「多様性が尊重され、すべての人が個性と能力を発揮し活躍できる熊本の実現」、二つ目に、「もんだ主義？ 思い込みをなくし、誰もが自分らしく挑戦できる熊本へ」とある。従前の基本目標を踏襲したような形でいくのか、新しい切り口でのキャッチフレーズにするのかという方向性について、ご意見をいただきたい。

私の意見としては新しいキャッチフレーズ案の切り口はすごくいいと思うが、「もんだ主義」を把握しておらず、周囲も知らなかった。「知らないこと」を切り口にして興味を持ってもらう手法もあるかもしれないし、馴染みがない表現についての懸念もあると思う。

事務局

「もんだ主義」については、まだ浸透していないが、知事が使われているフレーズで、「こんなもんだよね」「そんなもんだよね」といった、現状を諦める・受け入れるだけにならないよう問い直す際の旧態依然としたスタンスとして使用している。自由で型にとらわれない発想や多様な挑戦が広がる社会を目指す意図がある。これからブラッシュアップは必要になってくると思う。

従前の基本目標については、別紙2（1）にあるように第1次から第5次まで、似た雰囲気であり、事務局の方では、興味を持ってもらう内容にしたいということで「もんだ主義」を使ったキャッチフレーズの方にしたいと考えている。

太田副会長

木村敬知事が用いる (<https://www.tlpark.com/enjoy-20154382912339865281/-x>) 「脱・もんだ主義」の方がわかりやすい。

事務局

再度ブラッシュアップをさせていただきたい。

島田委員

以前、メールでいただいていた資料の方には、「もんだ主義」に加えて別の表現があったかと思ったが。

事務局

「もんだ主義」の反意として、事務局で言葉をつくっていたが、関係課の方針もあり、今回は降ろさせていただいた。

狭間委員

少し長い気がするので、もう少し短くした方が頭に入りやすいかと思う。

福山委員

若者の言葉で作った方がいい。若者の気持ちを大事にした方がいいと思う。県民の人たちにも、「熊本ちょっと変わってきたな」と思ってもらえると思う。

濱田委員

職員2～3人に「もんだ主義」を聞いてみたが分からなかった。

ただ、そういう言葉を浸透させたり、今までのような形にはまった文言より、親しみやすさや印象に残るフレーズを使ったりするのはいいと思う。また、福山委員が先ほど言われた若者が使っている言葉などもいいと思う。

園田委員

「もんだ主義」は、夫も子どもたちも聞いたことがなくて、家庭内で話題になった。

計画は中身が硬くなるので、目標の言葉は、いろいろな世代が目についたときにスッと受け入れやすい柔らかいものができるといいと思う。

喜多川委員

「もんだ主義」については、自分は初めて聞いたが、知事がよく使われているということで、JA中央会の職員10人くらいの中で知っている方は3人だった。

キャッチフレーズなので、分かりやすく、新しい言葉で、取り入れやすいものができたらいいと思う。

4 その他

事務局

本日お配りした第6次計画の本文（第4章「第6次熊本県男女共同参画計画の基本的な考え方」及び第5章「基本方針と施策の方向」）については、国の第6次基本計画（素案）と女性の職業生活における活躍に関する基本方針に加え、本県の関連計画等

との整合を図りながら、当課にて文案を構成し、現在関係課に作業依頼を行っているところ。関係課との調整後、指標及び関係施策一覧を加えて、11月12日水曜日開催予定の第3回審議会において、第6次熊本県男女共同参画計画（素案）としてご審議いただく予定。

山下会長

成果指標の設定値は、テーマごとに応じた設定の仕方、工夫が必要であるので、実態に合ったものになっているか、分かりやすいかという視点からも委員に確認していただき、当日ご意見いただければと思う。

事務局

実態を測れるような指標を担当課と協議しながら検討していきたいと思うので、よろしく願います。

5 閉会